

環境(エコ)シティ

コーディネーター：おだわらスマートシティプロジェクト

取組の背景

本市では、多くの市民、多くの団体が、小田原をより素晴らしいまちにしようと、自然環境の再生や街環境の整備に精力的に活躍しています。

しかしながら、お互いの存在や活動を知らなかったり、情報を共有できていないことが少なくなかったため、様々な環境に関する問題を多くの市民が知って、一緒になってその解決策を考え実践していけるネットワークづくりが必要な状況がありました。

活動の狙い

環境に関する問題の解決策を考え実践していくため、環境を良くしようとの意思を持つ、市民団体、企業、行政、地域団体、研究者などを『志民』と表現し、そのネットワークづくりを進めていくことを目的とします。

その連携の輪の中で、多くの方々が集い、知り合い、つながって、うるおう循環都市をつくっていければと考えています。

実施内容

10のテーマの中で最も多い16団体が加盟し、対象分野も多岐にわたっています。

「環境(エコ)シティ会議」を毎月開催し、各分野の活動フィールドにおける現地見学会や勉強会を行い、情報共有と活発な議論を展開してきました。

活動の成果

小田原の優れた自然環境を守り育て、活用するため、環境の全体像を把握し、課題をまとめる等の活動を行い、次のような成果をあげました。

・環境に関わる団体の活動を地図で紹介した「おだわらグリーンマップ」を発刊。

・平成23年11月19、20日「おだわら環境志民フォーラム」を開催。

小田原の環境活動に携わる市民・団体・事業所などが、活動状況や商品・製作物などを展示したほか、森里海連環の維持強化、安全なエネルギーなどをテーマにし、全国区で活躍されている実践者や学識経験者などをお招きして講演やシンポジウムを2日間にわたり開催。

・さまざまな環境課題に取り組むためには、市民をはじめ環境活動団体や地域活動団体が課題を共有し、つながりを築く必要があると考え、環境分野のネットワークのハブとなる環境プラットフォームの構築を目指すこととしました。

今後の展望

環境志民フォーラム開催を契機に、森里海連環や自然エネルギーなど各環境分野において、市民が主体となった取組の前進を図ります。

さらにこれまでばらばらに活動していた環境団体が、環境に関する課題を共有することを通じてネットワーク化を促進し、環境活動のプラットフォームを形成していきます。

参考URL

http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/environment_project/



取組の経過

平成22年1月～平成23年3月

環境(エコ)シティ推進プロジェクト開始

- ・参加団体の活動を見聞し、共通認識を持つための体験ツアーや「水」に関連する施設の見学
- ・環境再生・環境改善の仕組みづくり勉強会
- ・小田原市低公害車普及促進会議(おだわらエコカープロジェクト)や環境再生プロジェクト主催により勉強会
- ・『みんなで創る地域協働のしくみづくり』ワークショップなどを開催しました。



「荒地の再生・活用」実践活動の様子

平成23年11月19、20日

『おだわら環境志民フォーラム』開催

東日本大震災の発生により『環境ネットワークまつり』が中止となりましたが、その後、安全なエネルギーなどをテーマに加え、同年11月19、20日に『おだわら環境志民フォーラム』を開催しました。



おだわら環境志民フォーラム開催

POST3.11

おだわら環境志民フォーラム 入場無料

～森の再生からブリの来るまちへ～

2011年11月19日(土)～20日(日)

小田原市生涯学習センターけやき

はじめます 市民の力で

東日本大震災は、電力供給不足、異常豪雨による急激な河川氾濫といった問題を引き起こし、地域の安定的な経済活動、水や食の安全、安心して生活できる環境など、後々の生活の基盤となる様々な事業に極めて深刻な影響を与えました。

「3・11」で時代の転換期に立たされた私たちが、生き方を問うつゆなし、今前に気づかなければいけないかを再考します。

主 催 小田原市・おだわら環境志民フォーラム実行委員会

委 員 林野庁・関東森林管理課 環境省関東地方環境事務所 神奈川県 鶴岡町 真鶴町 瀬河町

協 賛 小田原市教育委員会 小田原商工会館 小田原市観光協会

協 力 株式会社環境社人もづくり(生態文化機構) 株式会社活動法人ガイア・イニシアティブ おだわら森林・林業・木製産業再生協議会

特別協力 関東森林庁長官直轄施設

おだわら環境志民フォーラム チラシ

平成23年11月～

プラットフォーム構築へ準備

あらゆる環境に関する動きをまとめ、環境コミュニティ活動の中間支援機能を持つプラットフォーム型NPOの構築に向けて検討しています。



小田原の環境の将来像について議論